☆深谷の未来に明るい光☆ こんな ふかや に住みたいなぁ 子ども議員たち

平成20年度子ども議会が、8月4日市役所本庁舎3階本会議場で開催されました。

子ども議会は、市の将来を担う子どもたちに、まちづくりについて考え、意見を発表する体験を通して、市政への関心を深めてもらうとともに、子どもたちの純粋な意見を市政運営の参考とするために、毎年夏休みに開催しています。

各小学校から１人ずつ選ばれた19人が参加しました

小学生の部

各中学校から２人ずつ選ばれた20人が参加しました

中学生の部

小学生の部19人、中学生の部20人の子ども議員から、不審者対策や災害対策、環境対策といった、現在、社会的に問題になっている事柄や、くるりンバスの巡回コース、深谷市のアピール方法など、これからのまちづくりへの提案について、多岐にわたる質問がされました。

質問する子ども議員一人ひとりに、市長をはじめ、各担当部長が回答しましたが、子ども議員たちは、議会本番さながらの雰囲気の中、緊張の面持ちで、真剣に聞き入っていました。

深谷市の良いところを紹介できるよう、「深谷ブランド」があればという子ども議員に、市長は、「深谷市には農作物をはじめとするブランドがありますが、ぜひ学校の友達と深谷市のブランドについて話し合って、一覧表を作成してください」とお願いしました。

また、学校がとても暑く対策が必要であると質問した子ども議員に対し、栗原（くりはら）市議会議長は、市議会においても、控え室の暑さ対策として、ベランダにゴーヤで緑のカーテンを作ったことを紹介しました。

そして、それぞれの学校でも実施してほしいと、議会終了後、小学生議員たちと一緒に、大きく実を付けたゴーヤを収穫しました。

緑のカーテンからゴーヤを収穫！

沈思黙考（ちんしもっこう）

深谷市長
新井家光

秋出水（あきでみず）

立春から日を数えて「二百十日」くらいの９月初旬は台風の襲来が多く、「秋出水」として初秋の季語になっています。頭（こうべ）を垂れつつある稲が倒れ、時として堤防さえ決壊させてしまうほどの大雨が降るのも秋出水の恐ろしさです。

最近はその「秋出水」の脅威が増しているようです。私は昨年、国土交通省主催の「荒川防災フォーラム」という催しに、パネリストとして参加いたしましたが、その時一緒に参加した、気象予報士のかたの話が印象深く残っています。そのかたがおっしゃるには、10年前は１時間当たりの降水量が80㎜を超える「猛烈な雨」は、トップニュースになる位少なかったそうです。しかし今では、ニュースはおろか、気象コーナーでも話題になることは稀（まれ）だそうです。つまりここ10年、雨の降り方に「異常」が見られるというのです。

本市でも昨年の９月７日未明、関東を直撃した台風９号の影響により荒川の水位が一時『はん濫（らん）危険水位』を超えてしまいました。私は直ちに荒川付近の住民の皆様へ避難指示を発令し、最大時では272人のかたに最寄りの避難所へ避難していただきました。その教訓を踏まえ、今年も「災害に強いまちづくり」を目指しまして、総合防災訓練や、避難訓練を主体とした地区センター防災訓練を実施いたします。

地球は言うまでもなく太陽系で唯一水を湛（たた）える惑星です。私たちの体も６～７割が水分でできているといわれるほど、水はなくてはならないものです。しかし、一度牙を剥（む）くと手を付けられないほど暴れるのもまた水です。思えば、狩猟・採集の生活から抜け、田んぼを作るため低地で生活を営むようになった弥生時代以降、日本人は水に挑み、それを上手に利用してきました。

しかし、近年の度重なる「出水」は、歴史を踏み越える感があり、私共は従来の方法に加え、本年７月に「メール配信サービス」を開設し、今月からは「エリアメール」を開始いたしました。

正確に、かつ迅速にお伝えし、被害を最小限に食い止めるべく、あらゆる手立てを講じてまいりますので、皆様のご協力をお願い申し上げます。

音も無く殖（う）えて悲しや秋出水　高浜虚子（たかはまきょし）

「沈思黙考」ワンポイント解説

防災訓練 ＆ エリアメール

1 防災訓練を実施

とき　9月13日㈯午前8時30分～正午（小雨決行）

ところ　①総合防災訓練＝総合体育館（深谷ビッグタートル）②地区センター防災訓練＝各公民館

※当日は、午前8時30分に防災行政無線でサイレンを吹鳴し、また、午前8時30分から約50分間、ヘリコプターによる避難訓練の開始をお知らせします。火災と間違えないようご注意ください。

※ヘリコプター離着陸の際、騒音・強風などでご迷惑をお掛けします。

2 9月1日に緊急速報「エリアメール」を開始

市では、株式会社エヌ・ティ・ティ・ドコモ（以下ドコモ）が提供している緊急速報「エリアメール」を利用し、災害・避難情報などを携帯電話のメールに配信するサービスを開始しました。このサービスは、次の条件を満たしている場合に配信されます。

①エリアメールを受信可能な携帯電話（ドコモの705i、905i以降の機種）であること

②エリアメール受信設定を「利用する」にしてあること

③メール配信時に携帯電話が深谷市の区域内にあること

なお、市への登録などの手続きは必要ありません。

また、今後他の携帯電話事業者が同様のサービスを開始した場合は、サービスを拡充していきます。

※エリアメール対象機種以外の携帯電話をお使いで、災害・避難情報を配信希望のかたは「深谷市メール配信サービス」の災害・防災情報をご利用ください（要登録）。登録については表紙をご覧ください。

【問い合わせ】危機管理課（☎574－8597）へ